

總連發第一七七六號

沖繩作戦関係者に関する件

昭和三十三年四月九日 第一復員局總務部長

終戦連絡中央事務局政治部長殿

一 参照文書 三月二十九日附 第二部史実深リバーマン紙

發覺書

二 沖繩作戦関係者の調査の結果は左記の通りな

ある

左記

大尉

昭和三十三年六月二十日 第三十二軍司令官

中將及同參謀長 中將を介錯し

左後自決した

大本営陸軍参謀から関東軍参謀に轉任

し終戦とたつり目下ソ聯地区に收容されてゐる

3 1 徳之島獨立混成第六十八旅團

第六十四旅團の誤りと思はれる

長

現住所 埼玉県

少将

口 宮古島 第二十八師團

該当者かたない

ハ 石垣島 第一獨立旅團

該当者かたない

ニ 小祿 駐屯ウカキ支隊

陸軍部隊には該当するものかたない

同地亦あつたのは歩兵第二十二聯隊の次級

副官に [redacted] 大尉と見られる者が右に戦死した

海軍部隊にはなかと思われる

ホ伊江島駐屯ウニカミ支隊の一大隊

同地にはウニカミ支隊は早く [redacted] 支隊

の一部があり大隊長は [redacted] 少佐で

あるか同隊は全員同島で戦死した

尚同支隊長は [redacted] 大佐で

彼の現住所は長崎県 [redacted]

[redacted] である

昭和二十年四月八日

局長

附局

部長 連帶

批

長課

批

員課

連 録 課



名件

沖繩作戦関係者に関する件

名宛

終速 政治部長

宛信者

總務部長

總連發 (連電) 第一七七六號

一 参照文書 三月二十九日附第二部史実課

リバーマン氏發覚書

二 沖繩作戦関係者の調査の結果は右記

の通りである

左記

1. [redacted] 大尉

昭和二十三年六月二十二日第三十三軍司令部

[redacted] 中將及同參謀長 [redacted] 中將

正介 銜、右後自決した

2. [redacted] 中佐

大東、高陸軍參謀から関東軍參謀に

轉任（銜、戦とあり）目下以聯地に收

容され了る

31 徳之島独立混成第六十旅団

第六十四旅団の總少佐と思はれる

長

少將

現住所 埼玉県

12 宮古島 第三十師団

後当者の名

18 石垣島 第一独立旅団

後当者の名

21 小禄 駐屯がキ支隊

陸軍部隊には後当するものあり

同地にありたるは歩兵第二十三聯隊で

次級副官に 大尉とある者あり

加戦死した

海軍部隊にはありかと思はれり。

市伊江島駐屯は二カキ支隊の大隊

園地には三カキ支隊はたゞく園頭

支隊の大部あり大隊長は

少佐であるが同隊は全員同島

に戦死した

尚同支隊長は

現住所は長崎県

である。

史實庶人秘第四九號

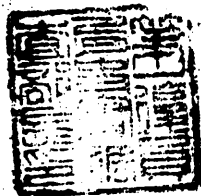
沖繩作戰關係者調査の件

昭和二十二年四月七日

第一復員局史實調査部長

連絡課長殿

(リバーマン氏宛)



昭和二十二年三月二十九日附G-1-2史實課發沖繩作戰關係者の調査結果を次の通り回答せられ度
尙出頭指令はG-1-2よりの次回の指令に基き實行するとと致し度
(本件史實課よりの連絡による)

左記

A 大尉



昭和二十年六月二十二日第三十二軍司令官 [Redacted] 中將及同參謀長 [Redacted] 中將を介錯した後自決した

陸軍

B 中佐

大本營陸軍參謀より關東軍參謀に轉じ終戦に至る目下「ソ」聯
地區に收容せられあり

○德之島獨立混成第六十八旅團（第六十四旅團の誤記？）

長 元少將

現住所 埼玉縣

宮古島第二十八師團

該當者ナシ

石垣島第一獨立旅團

該當者ナシ

小祿駐屯クニガキ支隊

舊陸軍部隊に該當するものなし

陸軍關係にて該地にありしは歩兵第二十二聯隊にて大級副官に

大尉なるものありしも戦死せり

海軍部隊にあらざるかとも思料せらる

伊江島駐屯國頭支隊の一大隊

長 元少佐

なるも同隊は全員同島にて玉碎した

クニガミ
尙國頭支隊長元大佐

てある

の現住所は長崎縣

陸軍